

平成31年度 公益財団法人柿衛文庫事業計画(案)

平成31年4月 1日から

平成32年3月31日まで

1 展示事業

展覧会種別	展覧会名称・概要	期 間
(1)特別展	<p>□蕪村の手紙</p> <p>画人として、俳人として、現代の私たちも愛してやまない作品の数々を生み出した蕪村。柿衛翁も鬼貫・芭蕉に並ぶテーマとして蕪村に注目し、資料の収集と研究につとめました。著書『俳画の美 蕪村・月溪』（昭和48年）は、俳諧と画業の両面から蕪村の作品と人物を追究した柿衛翁の研究の集大成です。</p> <p>そうした蕪村の魅力を語るうえで欠かせないのが手紙です。独特の肉厚の文字で綴られる一通の手紙には、一編の物語を読むような楽しさがあります。句会に出たり、絵の注文に応じたりと、忙しく働く仕事人としての蕪村。一方、美味しいお酒に目がなく、美人のいる料亭が大好き。時には妻の機嫌をとり、一人娘の嫁入りに気をもむ家庭人としての蕪村。手紙の行間に、人間蕪村がさまざまな表情をのぞかせます。</p> <p>本展では、手紙を中心に、画俳の名品を交えて蕪村の生涯と作品を紹介します。ぜひじっくりと蕪村の魅力をご堪能ください。</p>	<p>9月7日(土) ↓ 10月20日(日)</p> <p>38日</p>
(2)特別展	<p>□柿衛文庫 珠玉の名品</p> <p>柿衛文庫所蔵のコレクションの中から、芭蕉筆「ふる池や」句短冊をはじめとする珠玉の名品の数々を一堂に展示します。また、俳文学者であり、柿衛文庫の中核をなす俳諧資料を収集したことでも知られる柿衛翁の収集と研究の足跡もあわせてご紹介します。</p> <p>生き生きとした書之美、心地よい句の調べ、句に添えられた興味尽きない画が織りなす俳諧の世界を余すところなくお楽しみください。</p> <p>開館35周年を迎えた柿衛文庫の収蔵品をとおして、俳諧・俳句の魅力に触れていただく機会になりましたら幸いです。</p>	<p>1月18日(土) ↓ 3月1日(日)</p> <p>38日</p>
(3)小企画展	<p>①柿衛さんの中学時代</p> <p>岡田柿衛の学生時代を直筆資料等でご紹介します。</p> <p>②芭蕉・蕪村-岡田彰子コレクションに見る</p> <p>父岡田利兵衛の研究姿勢を受け継ぎ、蕪村筆蹟研究の礎を築きあげた俳文学者岡田彰子氏（1930～2018）のコレクションの中から、芭蕉・蕪村を中心にご紹介します。</p> <p>③伊丹が生んだ俳人 鬼貫</p> <p>郷土伊丹の俳人である鬼貫は、柿衛翁の俳諧研究および資料収集の出発点となった俳人です。伊丹へのゆるぎない郷土愛を持ち続けた柿衛翁が顕彰に尽力した鬼貫の直筆作品をとおして、その人となりをご紹介します。</p>	<p>4月6日(土)→5月26日(日) 45日</p> <p>6月1日(土)→6月30日(日) 26日</p> <p>7月6日(土)→8月25日(日) 44日</p>

④ 生誕150周年 松瀬青々展

正岡子規に師事し、雑誌「ホトトギス」の編集にも携わった俳人・松瀬青々の作品を紹介します。

11月2日(土)→12月15日(日) 38日

⑤ 鬼貫顕彰俳句 伊丹っ子作品展

柿衛文庫主催の鬼貫顕彰俳句大会(小学校・中学校・高等学校の部)の受賞者による句に絵を添えた色紙作品を展示します。

12月17日(火)→12月22日(日) 6日

2 調査研究事業

- (1) 特別展・企画展のための資料調査研究
- (2) 伊丹市内外における資料調査研究
- (3) 『柿衛文庫目録 第3篇』刊行のための調査研究(書冊篇と短冊篇は刊行済、軸物や手紙など、その他資料の整理)
- (4) 寄贈資料の点検・整理
- (5) 俳諧・俳句に関するレファレンス事項についての調査・研究

3 書籍刊行事業

- (1) 『蕪村の手紙』図録 発行部数 700部
- (2) 『柿衛文庫 珠玉の名品』図録 発行部数 700部

4 普及・教育事業

- (1) かきもり文化カレッジ

	講座名・内容	講師名	講座日	受講料
専門コース	【特別展関連講座】		各回とも午後2時～3時30分	
	① 蕪村の書(仮)	書家 石川 九楊 氏	9月20日	各回とも 一般 1,500円 大高生 1,000円 友の会 500円
	② 蕪村の俳諧(仮)	佐賀大学名誉教授 田中 道雄 氏	9月22日	
	③ 柿衛文庫の創始者 岡田柿衛(仮)	シンポジウム 坪内稔典と岡田柿衛研究会会員の皆さん 月 日(調整中)		
	④ 柿衛文庫のあゆみとこれから(仮)	シンポジウム 神戸大学名誉教授 堀 信夫 氏 柿衛文庫顧問 今井美紀 氏ほか 月 日(調整中)		
講読コース	芭蕉俳論の原点『葛の松原』を読む	神戸大学名誉教授 堀 信夫 氏	毎月第4土曜日(年10回) 午前10時30分～12時	一般1回1,800円 一括15,000円 友の会1回1,000円 一括10,000円

鑑賞コース	直筆で楽しむー花鳥風月・春から夏へ	柿衛文庫館長 岡田 麗	第4火曜日(年5回) 午後1時30分～3時	一般1回1,500円 一括5,000円 友の会1回 500円 一括2,500円
実作コース	俳句コース 俳句のつくり方を初歩から学ぶ	「鶴」同人 大石悦子氏	毎月第2火曜日(年10回) 午後1時30分～4時30分	一般 一括10,000円 友の会 一括5,000円
	男の句会コース 男性限定の句会	「山茶花」主宰 三村純也氏	毎月第3土曜日(年10回) 午前10時30分～12時	一般1回1,500円 一括10,000円 友の会1回 500円 一括 5,000円
研究コース	坪内稔典とたどる岡田柿衛翁の生涯	柿衛文庫理事長 坪内 稔典 柿衛文庫館長 岡田 麗	毎月第1金曜日(年10回) 午後1時30分～3時	無料(要資料代)
	俳句ラボ 49歳以下を対象にした若い世代の句会	青春俳句大賞受賞者による講座	毎月第2日曜日(年10回) 午後2時～5時	1ターム 一般1,000円 大学生500円
小学生コース (新規)	くずし字を読む	俳句のくずし字を読む教室 柿衛文庫理事長 大学の教授等	(調整中)	無料
ねんてんコース (新規)	ねんてんのことば談義	外部講師との対談や、その中で柿衛文庫の逸品も紹介する。		不定

(2)特別記念講演会

	講座名	講師名	日時	受講料
① 特別展 記念講演会	与謝野蕪村の画業	京都国立博物館館長 佐々木 丞平 氏	10月5日 午後2時～3時30分	一般 1,000円 大高生500円
② 特別展 記念講演会	俳諧・俳句のたのしみ(仮)	(調整中)	月 日(調整中) 午後2時～3時30分	一般 1,000円 大高生500円

(3)第29回鬼貫顕彰俳句大会

日時	選者(当日句会・表彰・選評)
8月 3日(土) 午後1時30分～	現代俳句協会 宇多喜代子氏 日本伝統俳句協会 稲畑廣太郎氏 俳人協会 大石悦子氏

(4)也雲軒事業

①第29回鬼貫頭彰俳句(小学校・中学校・高等学校の部)

選者	也雲軒塾頭 坪内稔典氏、伊丹市内国語科担当教諭
募集	伊丹市内外の各学校を通じて募集
句集	入賞句のみ掲載
表彰式	伊丹アイフォニックホール 8月16日(金) 午後1時30分～

②俳句と遊ぼう

色紙作品制作 8月17日(土) 上記受賞句に絵を添える自画賛色紙を制作

③第16回鬼貫青春俳句大賞 全国的な新人(15～30歳)の登竜門 柿衛文庫開館20周年を記念して創設

選者	日本伝統俳句協会 稲畑廣太郎氏、詩人 山本純子氏、俳人 塩見恵介氏、伊丹青年会議所専務理事、柿衛文庫館長
選考及び	12月21日(土)午後2時
表彰式	公開選考会の後、表彰式 入賞句は俳句総合誌『俳句』に掲載

④ことばを考えるシリーズ

各界のユニークで著名な人材を招いて、「ことば」の魅力を探る。

(5)一句(19)の日(新規)

毎月19日に市民が気軽に投句していただく機会を提供し、俳句を楽しんでいただく。

5 柿衛賞事業

第28回 柿衛賞

発表・表彰	6月2日(日) 午後1時30分～ 授賞式・受賞記念講演会
呈茶	山中宗鹿社中

6 俳句資料室事業

(1)第11回桂信子賞

決定	11月中旬
表彰	1月26日(日) 午後1時30分～
講演会	受賞者記念講演

(2)俳句朗読会/対談 月 日(調整中)

朗 読	清水紘治氏
対 談	(調整中)

(3)俳句資料室の運営

俳句資料室におけるレファレンス、資料整理・充実

(4)柿衛文庫≪日本のくらしをきく≫シリーズ(年4回予定 調整中)

7 その他の事業

(1)資料の閲覧・複写・出品・撮影・掲載に関する事業

(2)友の会に関する事業

①友の会ニュースの発行 年1回

②俳跡を訪ねる旅 年1回

③観柿会 11月3日(日)

(3)第17回正岡子規記念伊丹野球大会

(4)他施設・他団体との連携等

①第17回ひなかざり@伊丹郷町館

②講座・講演会等への職員の講師派遣